

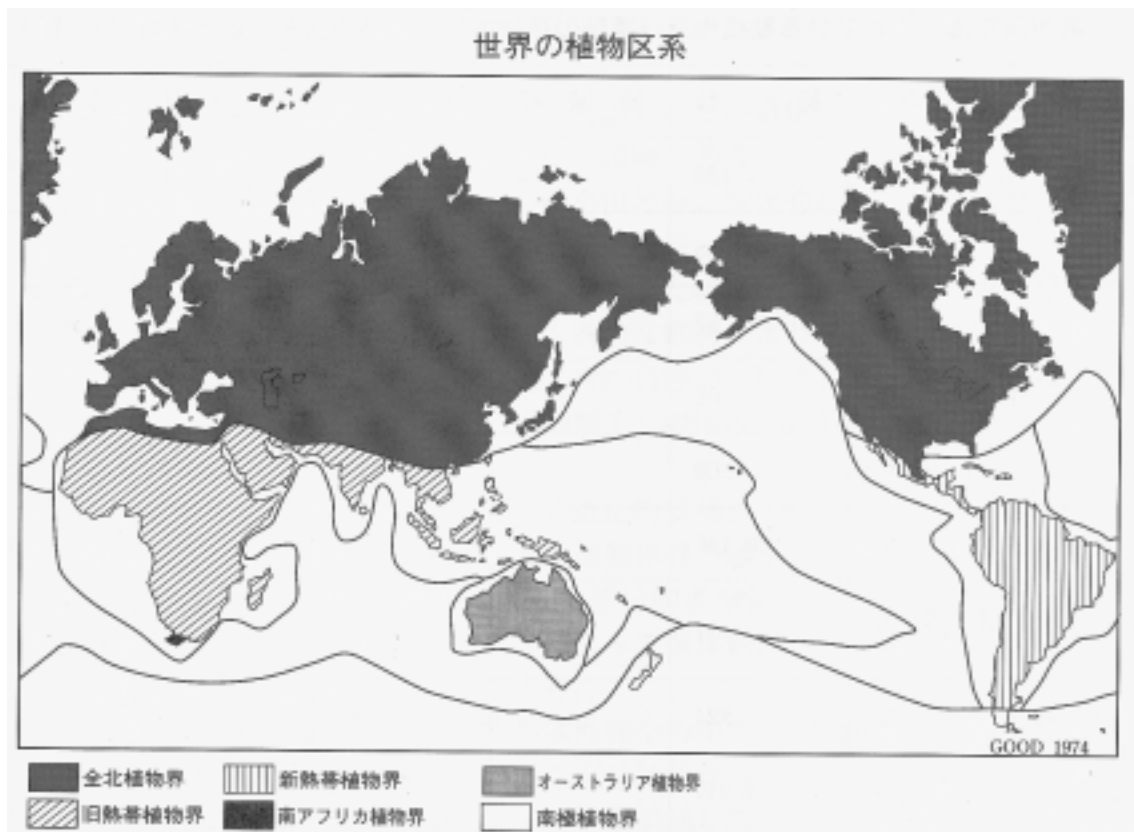


表1 世界の植物区系

植物区系：世界各地のフロラを形成する植物種を比較し、それぞれの特徴をもったいくつかの地域に分類したもの。生態的な気候要件よりもその地域の地史に影響されることが大きい。例えば同じ熱帯雨林であってもマレーと南アメリカではフロラ構成要素が著しく異なるので別個の植物区系として扱われる。区系界の下位に区系区（あるいは単に区 例：日華植物区）、区系区の下に地方などを区別する。

各区の名称	各区の特徴	区を代表する植物	日本に生育する代表種
全北植物区系界	ユーラシア大陸と北アメリカ大陸を含み、周北極要素と呼ばれる植物群が分布している。	マツ科、ヤナギ科、クリ属、サクラ属、カエデ科、ユリ属など	カラマツ、ケショウヤナギ、クリ、クルマユリ
旧熱帯植物区系界	アフリカ大陸、インド、東南アジア、ハワイ、インド洋・太平洋の諸島からなり、フタバガキやヤシ、バナナなどに代表される。	コショウ科、フタバガキ科、タコノキ科、バショウ科、ヤシ科など	タコノキ(小笠原)、アダン(琉球)、ニッパヤシ(琉球)
新熱帯植物区系界	南端のパタゴニア地域を除いた南米大陸を中心とした地域で、メキシコを含む。サボテン、リュウゼツランなどに代表される。	サボテン科、オオオニバス属、パイナップル科、カンナ科、リュウゼツラン科など	
オーストラリア植物区系界	オーストラリア大陸とタスマニア諸島を含めた地域で、ユーカリ、バンクシアなどに代表される。	アカシア属、ユーカリ属、バンクシア属など	
ケープ植物区系界	フリカ大陸南端に位置し、植物相が極めて特異であり、独立した区系界とされる。	エリカ属、アロエ属、マツバギク属など	
南極植物区系界	南米南端、南太平洋、南インド洋の島嶼、南極大陸を含む地域で、ナンキョクブナに代表される。種数が極めて少なく約170種に過ぎない。	ナンキョクブナ科など	

注：ニュージーランドの帰属については、旧熱帯植物区系界とするかオーストラリア植物区系界とするか議論がある。上表では旧熱帯植物区系界に含めた。

出典：J.F.Schouw(1823)が提唱し、その後H.G.A.エングラ(1986)のものを修正したL.Diels, R.Good (1947)のものが使用されている。